



## 【戦評シート】

平成28年5月15日(日)	協会名:	秋田県 バスケットボール協会										
場所: 鹿角トレーニングセンターアルパス	記入者:	藤倉 修、菊地 一成										
チームA 山本	37	<table border="0"> <tr> <td>18-6</td> <td rowspan="4">}</td> <td rowspan="4">45</td> <td>チームB</td> </tr> <tr> <td>8-11</td> <td>城南</td> </tr> <tr> <td>5-21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td></td> </tr> </table>	18-6	}	45	チームB	8-11	城南	5-21		6-7	
18-6	}	45	チームB									
8-11			城南									
5-21												
6-7												

スターター	チームA: #4, #5, #6, #7, #13
	チームB: #4, #5, #6, #12, #13
ディフェンス (試合開始時)	チームA: <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB: <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

女子決勝は第1シード「山本」と第2シード「城南」の秋季大会と同じ対戦となった。

### 第1ピリオド

山本は#13近藤がローポストでアシストパスを受けて先制すると、城南も#6長谷川がミドルシュートを決めて対抗する。山本が#7中田のバスケットカウントや#4近藤のスリーポイントなどで3連続得点で9-2とリードすると、城南は残り4分48秒に1回目のタイムアウトをとる。直後に城南は#5浅利が得点するも、攻めきれない時間帯が続く。その間に山本は多彩な攻撃で加点し、18-6で第1ピリオド終了。

### 第2ピリオド

山本の#5佐々木の得点後から城南は攻守のリバウンドを安定して取れるようになり、#5浅利の3ポイントや#13木村と#5浅利の速攻、#6長谷川のピックアンドロールプレイの4連続得点で追いついて残り4分で20-15とする。山本は開始直後に点を決めてから4分間無得点が続く、残り3分3秒に1回目のタイムアウトを取る。山本は3連続得点で流れを取り戻し、城南が残り51秒で前半最後のタイムアウトをとる。流れを取り戻した山本が26-17の9点リードで前半を終える。

### 第3ピリオド

城南は#13木村の3ポイントや#5浅利のジャンプシュートなどにより10得点をあげ、残り5分19秒で27-27の同点とする。山本の残り5分19秒での後半1回目のタイムアウト後は一進一退の攻防が続くが、城南は#13木村の3ポイントや速攻などで一気に加点し、38-31と差を広げて第3ピリオド終了。

### 第4ピリオド

開始早々に城南は#5浅利の3ポイントで10点差を広げるが、山本もフリースローや#7中田のシュートで食い下がる。互いに守り合いとなってきた残り4分49秒に城南は後半1回目のタイムアウトを取るが、両者ともになかなか得点を決められない状態が続く。43-37の城南6点リード時に山本が残り1分52秒で2回目のタイムアウトを取るが、戦局の打開までには至らない。残り1分には山本がオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけるも、城南は冷静に対応して得点をあげて45-37でタイムアップ。

攻守におけるリバウンドで流れをつかみ、プレッシャーディフェンスが機能した城南が初優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。